



キリスト福音教会夏季聖会 2018・8.15-16 希望ヶ丘文化公園・青年の城



献身の証

大津キリスト福音教会牧師 四方秋男

私は18歳の時、結核を患い、生きる気力を失い、世を儚み、自殺したいと思うようになりました。そのよ
うな時、クリスチャンのA兄（現在、
牧師）が教会に誘ってくださいまし
た。当時、北欧のO宣教師が開拓さ
れた頃で、温かく迎えてくださいま
した。初めは聖書の話は理解できま
せんでしたが、A兄とO宣教師の柔
和と愛に惹かれ、集会に出席するよ
うになりました。次第に宣教師の語
られるメッセージを理解することが
できるようになり、私の罪の重荷、
人生の重荷のため、イエスが十字架
に身代わりに死なれ、甦られたこと
を信じることができました。また、
主のお恵みにより結核が癒されまし
た。次第に内向的で陰鬱な性格も変
えられていきました。

伝えなさい。必要を満たします」と
聞きました。朝を待つて、母親に伝
道師としての学びに聖書学校に行く
ことを話しましたところ、涙を流し
ながら、猛烈に反対されました。母
は伯父を呼んで私を説得しました。
「母親を悲しませてはならん。」伯父
は母に勘当するように勧めました。
田舎で、近所の手前、耶穌教の伝道
師になることを恥じたようです。ま
た、兄は「伝道師になって、どうし
て食べていけるか」と反対しまし
た。私の決心は変わりませんでし
た。僅かの蓄えを母に渡し、ポスト
ンバック一つを持って聖書学校に行
きました。

私が献身の召命を受けたのは22歳
の時です。ある夜、教会員の近所に
火災が起こったとの知らせを聞き、
被害が及ばないように祈っていまし
た。夜12時を過ぎていましたが、肉
声で聞くように主が大声で「福音を

あれから、55年になります。神様
は真実な方です。「必要を満たす」
と約束して下さいたように、今日ま
で必要が与えられてきました。今年
78歳ですが、残された人生、主がよ
しと言われるまで、ご奉仕させて頂
きたいと思っています。どうかお祈
りください。

パキスタン宣教

太田ともえ

私たちは、ある時は成功し、ある時は挫折し…、様々な所を通されていきます。そんな中、野辺の一輪の花のような、すてきな女の子に会いました。

彼女は今、パキスタン北部の辺境地、「カラーシャ谷の村」に住んでいます。過去数年間、チトラールという町で、パキスタン人牧師が運営している「ガールズホステル」に住み、レベルの高い学校に通って「将来は医者になる」という夢をかなえようとしていました。事実、そのホステルの中でも勤勉で、将来を期待されていました。毎日お祈りし、神様との関係もしっかり持っているようでした。しかし、やむをえぬ事情で、カラーシャ谷の村に帰らなければならなくなりました。

私はこの夏、チトラールの町でガールズホステルを運営するパキスタン人牧師と共に、カラーシャ谷の村を訪問しました。実は以前、町にあるガールズホステルを訪問したことがあるので、彼女とは久しぶりの再会でした。彼女がガールズホステルでも期待の星であったことを知

るだけに、夢半ばで帰郷した彼女のことは残念なことでした。

彼女は、久しぶりに再会した私を満面の笑みで歓迎してくれました。カラーシャ谷の村で彼女と会うのは初めてでしたが、民族衣装を着けて緑深い庭先にたたずむ彼女は、とても自然でした。しかし私は、村での彼女の日常はどうか、神様との関係はどうか、心配していました。そんな私に、彼女はみことばを暗唱してくれました。「人ではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。(エペソ6:7)」

カラーシャ谷の村に、教会はありません。しかし、イエス様を信じる人がぼつぼつ起こされています。彼女もその一人です。彼女の人生は、彼女が幼い時に理想として思い描いたものとは違うかもしれませんが、主と共にあるかぎり、祝福の下にあります。家族に、周りの人に仕える彼女の姿が今も目に浮かびます。そして、彼女を通して主の栄光がこの地に現されますようにと願わずにはられません。



東日本支援

2年ぶりの東日本支援の旅は70代、50代、40代、20代と2歳の娘と共に、新潟・仙台・青森・岩手（大槌・大船渡）を周る6泊7日の旅でした。

以下は同行した山崎神学生のレポートです。

「旅を通して感じたことは人を愛すること、神が私たちすべてを愛し続けておられるということです。仙台の宇田川さん（気仙沼で泥出しを通して2011年からの関係）、ペニー先生と平川の人々を通して「続けて関わっていくことでできる信頼関係」を見ました。平川のペニー先生が「お世話になることでしか築けない関係がある」とおっしゃっていたことが印象的で、平川教会お隣のセツさん、大船渡グレイスハウスの大家さんなど、理解ある協力者はいつも備えられていると感じました（いずれも未信者の方）。彼らが救われれば確かに核になると思いますが、何より愛して祈り続けることにかかっていると思いました。齋藤満先生（大船渡）のニュースレターに書かれている“ボランティアのときに宗教に引き込またいという下心が見えるなら人は心を開かない”という言葉は心に残り、自分に問われています。私たちが人を手助けするとき、愛が動機でなければ、人には分かる。ただ、「ともに生きよう」、「ここにある手を使ってほしい」という思いで継続する関係の延長に、神の御手によってたましい救いがあるのだと感じます。7年経った被災地

の沿岸の土地かさ上げや途上にある巨大な堤防を見て、「いまだに……」というのが正直な感想でした。想像を超えて必要はまだまだあること、7年経ってもそこに被災された現実があることを感じました。（ヨハネ6:40）」

今、東日本は支援から宣教へと動いています。訪れていない福島県については放射能の影響があるため、保養キャンプへの支援など特別な助けが続けてが必要です。全国に「被災地」が広がる中、「支援の旅は今年で一区切りです」と伝えるのが今回の目的の一つでしたが、「継続した関係」を心に迫られる旅となりました。（上田勇矢）



大船渡グレイスハウスでの交流会（ボランティアのためのベースが「教会」として用いられることに、未信者の大家さんが快諾してくださったそうです）

TPKF 支援金の口座

▶郵便振替口座 00790-7-46083 口座名義 TPKF
▶銀行口座 三菱東京UFJ銀行 出町支店 店番号 506
口座番号 0668994 口座名義 TPKF 置田信也

小浜の子どもミニストーリー

小浜キリスト福音教会

大宅昭子伝道師 岸本あさ子伝道師 岡部光雄牧師

〈紹介〉

大宅昭子

今から53年前、私は小浜キリスト福音教会に導かれました。当時は、小浜で最初に救われた中村政子姉が日曜学校をなさっていましたので、私は野外の空地や公園などで子ども集会をさせてもらうようになりました。ギターやソングシート、紙芝居などを持って、夕方4時から5時頃まで。

50年ほど前は、両親は仕事で子どもは外で遊んでいるカギっ子が多かったので、野外でギターを弾いて歌って紙芝居などをすると集まってくれました。とても楽しくて疲れも忘れ、集会の後も公園の山に登ったり一緒に遊んだり短い時間でしたが有効に用いることができました。

「子どものミニストーリー」は種まきです。良い実がいつか成りますように祈りながら、「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見いだそう。」(伝道者の書11章1節)

事実、開拓伝道が始められた当時の子どもだった方も、後の日曜学校や野外の子ども集会からも救われて教会の良き奉仕をなさっています。これからも形は変わっても、「子どもミニストーリー」は続けられるでしょう。

主に栄光がありますように。



野外子ども集会 昭和41年 大宅昭子伝道師

〈証〉

岸本あさ子

感謝なことに、最近のバイブルキャンプは参加者が多い。馴染みの子達や初めての子達もいる。そのほとんどが未信者の家庭からの参加者である。ある姉妹が小学低学年の頃、何人かの友達を誘って参加したことがある。翌年その友達が別の友達と、又、弟妹と一緒に参加してくれるようにな

った。別の姉妹は近所にちらしを配り、その近所の子達、職場に勤める姉妹の同僚の子達なども熱心に参加してくれるようにもなった。中には、「イエスさまのことが聞けてよかった。十字架にかかって下さったことが自分のためだとわかった。」と、手紙を残してくれる子達もいて、スタッフ一同励まされた。これまでの長い間、主は私達と共にいて助け守ってくださった。何事もなく続けてこられたのはすべて主のお働きのゆえである。今年は、送り出して下さった保護者の元に子ども達が戻ったその後に、台風がいつもとは逆にUターンして東から西に向かったことを知った。



バイブルキャンプ



〈提案〉

岡部光雄

聖書に登場するテモテは幼い頃にイエスを信じて救われました(Ⅱテモテ3章14～15節)。イエスとともに十字架につけられた強盗のひとりには死の寸前にイエスを信じて永遠のいのちを受けました(ルカ23章40～43節)。どちらも救われて良かった。でも、幼い頃に救われたテモテは、聖書を頼りに早くから罪の生活から守られて、もっと良かった。子ども伝道は本当に大切です。あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」(伝道者12章1節)

あかし

「イスラエルでの祝福」

富士純福音キリスト教会 河西ヨルゲン



18歳の時、一年間キブツでボランティアとして働くため、イスラエルに行きました。最初に着いたキブツには、他のクリスチャンはいませんでした。祈ると、二人のアメリカ人クリスチャンが来ました。彼らは北のイスラエルにあるクリスチャンの団体に私を連れ、紹介してくれました。その団体に入り、他の国々の若いクリスチャンと共に2か月間学びました。その後私たちは別れ、それぞれ四か所のキブツにチームとして置られました。私が置かれたキブツはダフナとダンでした。そこで私は聖霊のバプテスマを体験しました。ボランティアとしてキブツで働きながら、毎週いくつかの訓練がありました。三つのみことばを暗記すること、バイブルスタディ、とりなしの祈り会、賛美と礼拝の集まり、ヘブル語のクラス、毎日のデボーション(聖書を読んでまた祈ること)。それらの中で神を知り、とても祝福された19か月間でした。

「主に信頼」

須磨自由キリスト教会 岸幹子

「彼に信頼する者は、決して失望させられることがない。」第一ペテロ 2:6

私たち夫婦は昨年12月、もうこれ以上辛く悲しく苦しい事はないという経験をしました。7歳の最愛の娘が病気で天に召されました。娘はすでに、苦しみや痛み、悲しみや涙もない最高の場所、天国にいると頭では理解できても心は痛みと悲しみで押し潰されそうでした。一生笑う事もできないだろう、と諦めていました。そんな中、牧師先生が勧めてくださったKBIの3週間コースに夫婦で参加しました。義認や神の愛について一から学び、神の偉大な愛を改めて確信し、言葉に言い表せない神への感謝が込み上げ涙が溢れました。その時から神様は私達の心を毎日癒し、回復し続けてくださいました。神様は本当に全ての事を用いて益としてくださるお方、沢山のママ友や学校の先生方がイエス様と出逢い、何名かの方がイエス様を信じ始めています。それが今私たち夫婦の喜びです。永遠の住まいで娘と永遠に過ごすその時まで、主に信頼し続けます。



「神様の無限の愛」

山科キリスト福音教会 鈴江郁子

私がクリスチャンになったきっかけは、結婚相手がクリスチャンだったからです。その時の私は何がクリスチャンなのかよく分かっていなかったように思います。そこで近所の教会へ行くことにしました。

初めの頃は慣れない事で緊張を感じたりしていましたが、同時に心が新しくなっている喜んでいるとも感じていました。その喜びは今も毎週感じています。洗礼を受けよう！生まれ変わろう！と決断するのは全く難しい事ではありませんでした。

洗礼を受けるための勉強会で、私の罪や神様からの無限の愛を知りました。こんな私とも一緒にいてくださって、見捨てずに許してくださった神様。その愛を思うと身体の内側が熱くなり、身体の外側は温かいものに満たされている感覚になります。

今は母教会から離れた所に住んでおり、兄弟姉妹に会えない事を寂しく思う日もありますが、常に側にいてくれて希望をくれる神様に感謝です。



■ ジョイフルキャンプ・TPKF大会プレ大会 〈イースト〉

TPKF イースト主催の小学生を対象としたジョイフルキャンプが8月1日(水)～3日(金)、秦野クリスチャンセンターにて行われました。今回は聖書の世界に行こう!というテーマで会場全体に聖書の世界の装飾を行い、ガリラヤ湖、カナの婚礼での奇跡、ダビデとゴリアテ、過越を体験しつつ楽しくゲームと御言葉を学ぶことができました。

8月17日(金)は2019年TPKF大会に向けてプレ大会が栄シャローム福音教会にて行われました。ゲスト講師に中山有太師をお迎えして、ずっと賛美をしたいと思うほどに素晴らしい時間に続いて御言葉を語ってくださいました。「あなたの心が夢中になっているものは何ですか?」

という問いかけから、私たちがイエス・キリストを一番にして歩んでいるかどうか問いかけられ、一人ひとりに神様からのチャレンジがあり、来年に向けて素晴らしい一致の祈りと礼拝が捧げられました。(稲葉基夫)



ジョイフルキャンプ

■ 『イスラエルからの風』FCMF北陸地区・秋の特別集会 〈FCMF〉

9月15日(土)午後、福井自由キリスト教会を会場に『イスラエルからの風』と題して、FCMF北陸地区・秋の特別集会がもたれた。ゲストはロイ・ケンドール師、通訳は小山大三師。ケンドール師はアメリカからイスラエルに移住して28年。今回は神様の導きで来日され、関西空港閉鎖により諸集会で講師が到着できない中、急遽ピンチヒッターとして数多くご奉仕されている。神様の「行け」という声に従う時に、不思議な神様のご計画があることをお証しされた。さらに、イスラエルに起こっていることはすでに聖書に書かれていること、今年建国70年の小国イスラエルの存在を通して「わたしが神であることを知るようになる」のみことばが実現していることを説き明かされた。また、すぐれたピアノ奏者、歌手としてCDを出されており、すばらしい賛美を捧げてくださった。(札幌義宣)



■ 夏季聖会 〈キリスト福音〉



8月15、16日の二日間、滋賀県竜王町の希望が丘文化公園青年の城で、KF Kの夏季聖会が行われました。講師は竹内宣雄師(写真)と奥様の望姉妹でした。お二人の飾らない人柄から語られたメッセージと証し、望姉妹のおだやかな声の歌とピアノで、参加者は神さまに導かれ、リラックスして、「家族の回復・家族の祝福」の話に聞き入りました。二日目の「賛美・証し・分かち合い」の時間では、子供たちの賛美と証し、宣教師家族の3世代が共に歌う賛美、また数名の兄弟姉妹が証しをし、涙と笑い、苦しみと回復、慰めと祝福を共に味わい共有する、すばらしい時となりました。別室で開かれた北欧風のスカンジナビアカフェでは、三人の姉妹が手作りのケーキを255人分用意され、250杯のコーヒーとともに参加者はくつろいだひと時も過ごしました。(大津キリスト福音教会 梅垣恵一・英子)

■ KBI 列島全体が揺すぶられた夏を過ぎて、母校に戻った学生たちの顔を見て、懐かしさと頼もしさを感じました。ひと夏の様々なプログラムを通して受けた恵みや訓練が彼らの表情に表れていました。二学期になっても台風や地震のニュースが続き、その執り成しの祈りを深めています。この秋は御霊のうめきに合わされる祈りを学ぶことが底流にあると感じています。私自身KBIで奉仕する恵みは学生たちとの祈り会にあると思います。彼らの証しに励まされたり、ともに心注ぎだす祈りに強められてきました。こうやって一緒に成長させていただいてきたのだという実感を覚えます。ボルヨソン先生がノルウェーに本帰国され、4月から着任されていた高橋めぐみ先生がその空いた部屋に移ってきました。文字通り「お隣さん」になって一層緊密なチームワークへと主が導いてくださっています。お祈りを感謝しつつ。(関西聖書学院 大田裕作)

教会紹介

松岡福音教会 所在地：福井県吉田郡永平寺町松岡葵 3-121

私たち松岡福音教会のある地域は、曹洞宗本山永平寺のお膝元、近くには、国立福井大学医学部と福井県立大学があり、鮎釣りで知られる九頭龍川が流れる人口13000人の田舎町です。ここに、今から約40年前に関西聖書学院を終了した現在の牧師が郷里伝道を開始しました。最初、子供、中学生伝道から始まった教会は、現在、彼らの子供たちが青年となっています。(江守哲雄)



町田純福音教会 所在地：東京都町田市中町 1-9-21

東京にある唯一のTPKF所属教会として町田市民約43万人の救いの為に、教員がひとつとなって主に祈り求め、伝道しています。2018年2月には津嘉山ファビオ、エリザベス先生家族が協力宣教師として加えられ、金曜イングリッシュフェローシップや女性のためのバイブルスタディーなど、新しい試みがスタート、またコーヒーショップ伝道なども企画されており、地域に開かれた地域のための教会を目指しています。(小川祐司)

教会情報

■ スリヤ・イリヤ・アンニッキ宣教師 7月23日オーストラリア、ブリズベンにて召天。

記念会 11月23日(金・祝日) 午後2時 守山キリスト福音教会

■ ホームオブピース

2018/9/17～9/22、小山英児先生が、皆様にご支援をいただいているバングラデシュの児童養護教育施設ホーム・オブ・ピースを訪問しました。今回は子どもたちを送り出している保護者たちが住む村(集落)も訪問しました。貧しさや迫害の中にあっても、皆様のご支援によって子どもたちが養われ、教育を受ける機会を与えてくださることを感謝していました。理事長のアルバート先生からもTPKFの諸教会に感謝の言葉を伝えて欲しいとのことです。

書籍紹介

歩いて歩いて福音宣教

— 力丸嗣夫の手探り伝道 —



本書は力丸嗣夫牧師の伝道記です。力丸牧師は今から半世紀以上前に高知県幡多地方に遣わされ、アメリカ人宣教師と共に約10万人の救霊の為に仕えました。中村福音センターを拠点に、自前のトラクトと聖書の分冊を配り歩き、キリストの福音を宣べ伝えたのです。宣教師から教会開拓の働きを引き継いだ当初、礼拝出席者がゼロになり、野の草を食べて空腹をしのぐこともありましたが、半年が経った頃には5名の受洗者が起こされ、4年目で自給教会になったのです。「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。」(ローマ 10:15)

(西川牧雄)

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
 保土ヶ谷純福音教会 神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
 甲府カルバリ純福音教会 / 富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
 富士純福音キリスト教会 グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国町) / 武生自由キリスト教会
 グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会 三方伝道所 / 高富グレースチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスベルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ
 美濃グレースチャーチ / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会
 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会
 京都キリスト福音教会 / 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会
 大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

